

## 6 軒天

### 6-3 納まり詳細図

8) 軒天14(軒天通気見切縁KCM2N□□J2)標準施工法 QF045RS-0053

45分準耐火構造適合品／品番:KCM2N□□J2 認定番号 軒裏:QF045RS-0053  
 ※KCM2N□□は非防耐火仕様品です。45分準耐火構造にはKCM2N□□J2をご使用ください。  
 ※軒天14以外の軒天材には認定が適用できません。  
 ※軒天通気見切縁本体に塗装を施した場合は認定が適用できません。  
 ※野縁の平行組は認定が適用できません。

## ●下地組み

野縁梯子組: 軒の出方向は軒元・軒先に、軒の幅方向は455mm以下の間隔で野縁(30×40mm以上)を組みます。

軒天材の左右接合部は野縁2本組みとします。

軒の出が500mmを超える場合、軒の出@500mm以下に吊り木(吊り木@1000mm以下)で吊ります。

●下地の不陸は3mm以下に調整します。

※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

●軒天材の留め付けは専用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)を用い、

野縁梯子組:軒の幅方向は225mm以下、軒の出方向は200mm以下の間隔で留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20～35mmとします。

●取り付けには専用タッピングネジ(別売)を使用します。KCM2Nの取り付け後、軒天材を取り付けます。

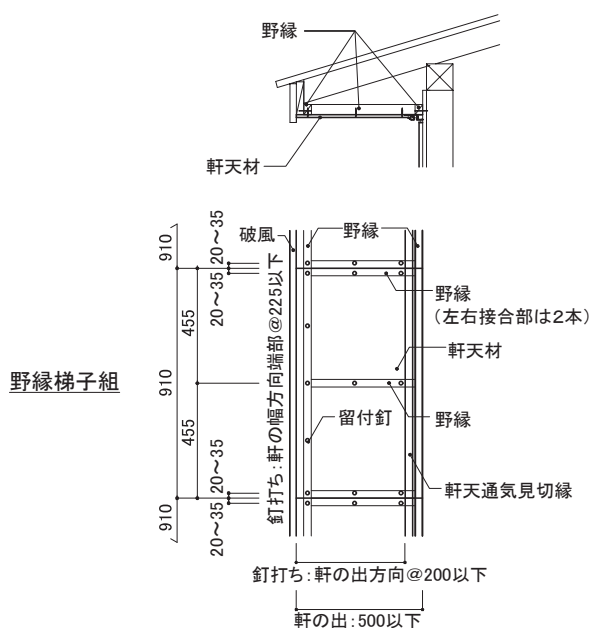
●KCM2N本体が長い場合は所定寸法に切断します。切断部は同色の補修液(別売)を塗布してください。

●出隅カバーは、KCM2N本体の片側にカバーを差し込むように嵌合させ、KCM2N本体を野縁にビス留めし、もう片方のKCM2N本体をカバーに差し込むように嵌合させ、野縁にビス留めします。

※塩害のおそれのある場所(海岸から5km以内)では、錆が発生する場合があります。

※片流れ屋根の水上側など、逆勾配の軒天への使用はしないでください。

軒の出が500mm以下の場合



軒の出が500～1000mm以下の場合

(防火認定上の規定)

